

情報連絡員報告総括表(平成30年11月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況								
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化						
製 造 業	食 料 品		3	1		4		1	3			4			2	2		1	3	1	3			4			3	1						
	織 維 工 業		2	1		3		1	2			3			3			3			3			3			2	1						
	木 材 ・ 木 製 品			1		1			1				1			1		1				1		1				1						
	紙 ・ 紙 加 工 品	1		1		2			2			2			1	1		2		1	1			2			2							
	印 刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	化 学 ・ ゴ ム																																	
	窯 業 ・ 土 石 製 品	2	1			3			3			3			2	1		3		1	2			3			2	1						
	鉄 鋼 ・ 金 属			1		1			1			1			1			1				1		1				1						
	一 般 機 器		3			2	1		3			3		1	1	1		2	1	1	2			2	1	1	1	1						
	電 気 機 器	1				1			1			1		1			1			1			1				1							
	輸 送 機 器		1			1			1			1			1		1				1		1				1							
そ の 他																																		
小 計		4	11	5		19	1	2	18			19	1	2	12	6	2	14	4	5	13	2	2	17	1	2	12	6						
非 製 造 業	卸 売 業	1		1		1	1		2			2		1		1		2		X				2		1		1						
	小 売 業	1	2	3		6		2	2	2		5	1		5	1		5	1							1	4	1		3	3			
	商 店 街		1			1				1		1			1			1									1			1				
	サ ー ビ ス 業	2	3		X			1	3	1		5		1	3	1		4	1								5			2	3			
	建 設 業	1	2	1				1	3		1	3		1	3		1	3												4		1	3	
	運 輸 業		1									1			1				1					1						1			1	
	そ の 他		1									1			1			1						1						1			1	
小 計		5	10	5		8	1	4	12	4	1	18	1	3	13	4	1	17	2				1	18	1	4	12	4						
合 計		9	21	10		27	2	6	30	4	1	37	2	5	25	10	3	31	6	5	13	2	3	35	2	6	24	10						

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成29年11月～平成30年11月)

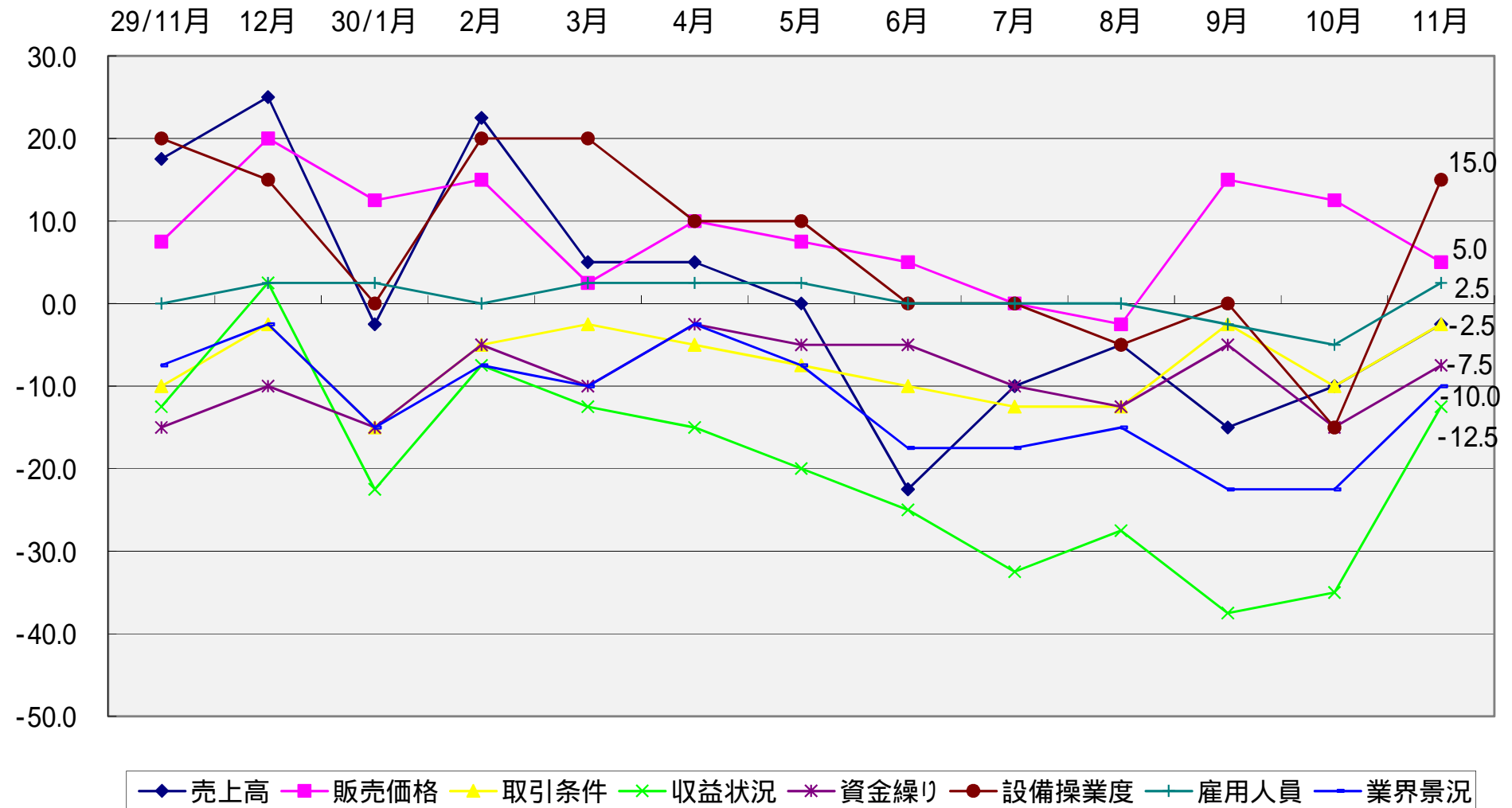
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	29/11月	12月	30/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	増減
売上高	17.5	25.0	-2.5	22.5	5.0	5.0	0.0	-22.5	-10.0	-5.0	-15.0	-10.0	-2.5	7.5
販売価格	7.5	20.0	12.5	15.0	2.5	10.0	7.5	5.0	0.0	-2.5	15.0	12.5	5.0	-7.5
取引条件	-10.0	-2.5	-15.0	-5.0	-2.5	-5.0	-7.5	-10.0	-12.5	-12.5	-2.5	-10.0	-2.5	7.5
収益状況	-12.5	2.5	-22.5	-7.5	-12.5	-15.0	-20.0	-25.0	-32.5	-27.5	-37.5	-35.0	-12.5	22.5
資金繰り	-15.0	-10.0	-15.0	-5.0	-10.0	-2.5	-5.0	-5.0	-10.0	-12.5	-5.0	-15.0	-7.5	7.5
設備操業度	20.0	15.0	0.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	-5.0	0.0	-15.0	15.0	30.0
雇用人員	0.0	2.5	2.5	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	-2.5	-5.0	2.5	7.5
業界景況	-7.5	-2.5	-15.0	-7.5	-10.0	-2.5	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	-22.5	-22.5	-10.0	12.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
平成30年11月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	9月下旬以降、例年より平均気温が高めに推移していることから、秋冬作の原料野菜の生育が急速に進み、例年より早く生産が進められている。また、生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、原料野菜の確保に苦慮しており、県外業者との間の新規の取引を検討している。また、11月12日に外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則の改正により、「農産物漬物製造業」が新たに2号移行対象職種に追加され、全日本漬物協同組合連合会が「農産物漬物製造業技能実習評価試験実施機関」として正式に認定され、組合員の関心が高まっている。
	醤油味噌	以前より運賃等の値上げによる原材料の値上げが利益を圧迫している。今年の第46回全国醤油品評会で下津醤油㈱の特級しょうゆ利兵衛が全国応募800点の中から4点の中の農水大臣賞を受賞した。しょうゆもの知り博士の出前授業の博士役として当組合の理事研究室長の望月が全国292名中3名の功労賞を日本醤油協会長から受賞した。
	豆腐	気温が高い影響で、厚揚げ、がんも等の揚げ物の売れ行きが低調である。
	製麺	11月10日、11日と埼玉県熊谷市で第8回全国うどんサミットが開催された。天候に恵まれ2日間とも9月ごろの陽気な日で多数の方が訪れて全国各地のうどんを堪能した。伊勢うどんも例年以上に食べて頂き、PR活動ができた事をうれしく思い、今後の発展につなげていきたい。
繊維工業	テントシート	生地メーカーの生産が需要に追いつかず、生地不足となっている。
紙・紙加工品	紙器段ボール	10月に続き地域の景況感も良く、昨年を上回る生産量を確保できた。段ボールシートの値上げも交渉も本格化し、一部は12月上旬より10%～15%の上昇で決着した。これからユーザーに対する値上げ交渉が本格化する。
	古紙	11月期の古紙仕入量は、前年比で段ボール：101±3%、新聞・チラシ：約85±7%、雑誌・雑がみ・その他合わせて：約92±6%の中での推移となっている。段ボール箱は軽少短薄になっているが、利用数が多いよう前で前年度より入荷の良い組合員が多数である。新聞・チラシは、夕刊の廃刊や発行部数も減少しており、宣伝広告やチラシも少ないようで、販売店の統合もあるようだ。雑誌・雑紙等は雑誌の発行部数の減少が大きく、雑がみが増えても合わせて前年より集荷が少ないようである。古紙の輸出は可能であるが、古紙の集荷量と運転手不足などで出来にくくなっているようである。古紙の集荷が減っている原因は、店舗数の増加や古紙の様々な回収方法があることや、古紙の持ち去りも大きな要因と考えられる。
印刷	印刷	年末に向けてパッケージやチラシ関係の需要は伸びているが、その他一般の印刷物は価格競争等厳しい業況が続いている。また、年賀状印刷は昨年以上に受注が減少している。
窯業・土石製品	伊賀焼	今月は天候にも恵まれて、またガソリン価格の値下げの影響もあって、伊賀焼伝統産業会館、伊賀・信楽古陶館とも入館者数、売上とも昨年を上回った。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は10月と同様であった。自動車部品関連は若干の伸び、建築関連部品はほぼ同様で、その他の製品に関しても同様であった。半導体関連は10月同様に低迷したままで、回復基調がでるのは6月以降になるとの観測がされている。
一般機器	四日市	このところ県内の経済状況が安定し、上方傾向にある。人材不足や燃料価格の値上がり等不安材料はあるものの、組合員一同頑張っている。企業トップの交代期にある組合員もあり、各々が企業努力を続けている。
	伊勢	先月に引き続き、前年比で収益が悪化している。昨年が国内外の需要が旺盛だったということもあるが、先行きを懸念している。
電気機器	鳥羽	受発注共に増加状態で変化なく設備更新などが行われつつある。
輸送機器	鈴鹿	一部の機種で繁忙感はあるものの、全体としては前年並みの稼働であった。大手部品メーカーでは今期計画を下方修正するところもあり、今後については景気の後退感がある。

報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
平成30年11月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
非 製 造 業	青果	野菜前半：高値が続いていたが、最近の好天の影響で胡瓜・キャベツ・白菜も順調に入荷、ほうれん草・小松菜・大根は例年より安い。品薄のため、ネギ・トマト・人参は高いが、今後好天を受けて増加の見込み。野菜後半：10月の好天で全体として入荷が増え、ほうれん草・小松菜・キャベツ・白菜は例年より安く、果菜類の胡瓜・トマトも入荷増で安定した価格で安くなりそう。ジャガイモ・玉葱は順調に入荷した。果物前半：国内産、和歌山産とも極早生から早生に切り替わり、甘みとほどよい酸味があり、量も昨年並み。柿は多気産の次郎柿が多く、価格も安い。伊勢特産の運台寺柿も入荷した。果物後半：富有柿も11月いっぱい多くでる見通しで価格も安定している。みかんは出荷ペースが例年より早く価格も安くなっている。リンゴも入荷が多く安い。	
	小売業	自転車	11月上旬にはサイクリング大会等各種イベントが多くあり、ユーザーとの交流を深めるよい機会だった。この時期例年次年度商品の入荷(早期注文、早期展示)があり、今年度商品の在庫処分も含め、売出しと合わせて店内様変わりする季節である。天候も暖かく、昨年並みの動きはあったとの報告も届いている。ただ、2019年度新モデルが1割以上の値上がりとなっており、8万円以上(税込)商品を数多く展示はできないとためらうショップもあるとのことである。
		石油	11月の燃料油販売数量は前年対比96%前後の状況であった。10月から原油価格の下落により店頭販売価格も下がったが、販売数量については伸びない状況であった。原油価格については下落が続いており、10月初旬の最高値から30%の下落である。このような原油価格状況において中東産油国はOPEC総会において原油の減産を合意する可能性が出てきているのが現状である。
		スポーツ	11月は暖冬の傾向のため、ウインドブレーカー等冬物の発注がどの店もかなり悪いようである。暖かいとって春夏物が売れるわけでもなく、早く冬の到来がまちどおしい。
	商店街	熊野市	行政からの街づくり先進地視察の要請があり、市の担当者他、商工会議所や自治体役員、そして商店街からも役員数名で彦根市へ出向いた。無電柱化や街路灯などの整備事業やまちづくりに関する現在までの取組み等を彦根市役所の担当者からお聞きし、その後実際に街を散策した。今後の街づくりへの取組みを考える上でとても参考になる視察と感じた。
	サービス業	旅館	旅行客の動きが、数年来、宿泊が伴う旅行は秋のシーズンで春は日帰りが多いといった傾向がある。桜の見頃は短い、紅葉は長い間楽しめることもあり、紅葉を求めて後半の3連休は各地とも賑わっていた。特に湯の山温泉は、ロープウェイが新しくなり、県下では一番の集客のようであった。県下は全般的に好調であった。
		測量	前月と同様元請が少なく、大手の下請に忙しい業者が半分、残り数社は測量以外の仕事についている。
		警備	公共事業の受注増で、人員不足のためやりくりが大変である。
	建設業	内装工事業	今年度の増減を繰り返す流れの中で、11月分は前年同月比で増加となった。この流れは年度末まで続くと思われるが、年間の推移でみると、平均化されると思われる。
		水道工事業(四日市)	今月は特に大きな変化は見られなかった。11月は例年に比べて気候が良い日が続いたため、仕事は順調に消化できた。ただ、これから12月になり、寒い日も続き、また年末ということで人員不足の問題が現れると思われる。
	運輸業	トラック	燃料価格高騰が収益を減少させている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	組合活動を毎月開催し、組合員と意見交換ができるように取り組んでいく。今後の取り組みの情報をお願いしたい。
一般機器	四日市	政府の施策には全く期待できない。自助努力あるのみ。
一般機器	伊勢	補助金制度の簡素化を望む。申請書作成に結構時間を取られる。例えば製造業なら機械設備メーカー工業界の証明書と領収書だけで済ませられるようにしてほしい。
サービス業	旅館	来年の消費税増税対策を今からしっかり考えてもらいたい。業界の要望等も考慮して効果の大きい施策を検討してもらいたい。
サービス業	測量	組合運営については先暗い